

2級電気工事施工管理技術

検定試験（学科）合格

電気科 3年 中谷 健人君



平成28年度の全国合格者数5339名のうち21歳以下の合格者が2.5%の難関資格試験に合格しました。県工在校生初の快挙です！

<http://www.fcip-shiken.jp/about/kako.html>

(合格基準を参照してください)

中谷くんは2年生で第一種電気工事士に合格し、県内の電気工事設備会社から内定を得て、就職後もスキルアップを目指すために2級電気工事施工管理技術検定試験を受験しました。専門ではない建築用語に苦戦しながら、地道な努力を継続した結果です。卒業後は、実務経験を積んで実地試験に合格することはもちろん、1級も合格する力がある努力家なので、今後も中谷くんの活躍に期待します。

電気工事施工管理技術検定試験は、国土交通省が建設工事に従事する者の技術力の向上を図るため、建設業法第27条に基づいて行っているもので、電気工事に従事する施工管理技術者の技術の向上を図ることを目的として、一般財団法人建設業振興基金が実施しています。

2級電気工事施工管理技術検定試験は、建設業法施行令等の改正により、17歳以上であれば、実務経験を積む前に学科試験のみを受験できるようになりました。この制度によって学科試験に合格した者は、定められた有効期間内に所定の受検資格を満たすと、学科試験免除で実地試験を受験することができます。実地試験に合格することにより、2級電気工事施工管理技士の資格を取得することができます。2級電気工事施工管理技士は、建設業法に定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く主任技術者となる資格として認められています。